

2025年度 事業報告書

特定非営利活動法人ピッピ・親子サポートネット

I. 事業の成果

1.参加型組織の運営

・次世代リーダー(理事)とともに、法人全体のマネジメントに取り組み、新たな組織運営のアウトラインが見えてきました。各事業においても、施設長、管理者、W.Co代表等の交代を経て、経験を繋ぎながら新たなリーダーシップが発揮されています。変革へのチャレンジにはさまざまな摩擦や困難も生じますが、それらもエネルギーに変えてポジティブな変化に繋げていきます。ピッピ・親子サポートネットは、自らが仕事を自治する協同労働を基本とし、W.Coと法人が共に経営上の決定権を持つ組織であることを再確認し、法人および各事業所が連携した取り組みを進めます。

2.場を開く

1)親子支援チームとしての取り組み

・ピッピ保育園の「ほいくえんにあそびにきてね」の取り組みを生かし、みんなの保育園での広場事業や、りとりるピッピでの「ながくつした文庫」がスタートしました。

・親子のつどいの広場はっぴいとも連携し、保育園の強みである「食」でつながる取り組みを展開しました。

・W.Coミズ・キャロット(すすき野ランチ)の取り組みを学び食でつながる可能性について意見交換する機会として「食でつながる」学習会を開催しました。食を真ん中にW.Coのあり方について考える機会ともなりました。

1月29日 「食でつながる」学習会 (くらしてらす3階、オンライン) 参加38人

・子育て支援チームが中心となり食を入り口にしたプログラムを企画・運営しました。

10月14日はっぴい「スープの日」参加5組

11月20日 りとりる・ピッピ「スープの日」(ながくつした文庫) 参加3組

12月9日 ピッピみんなの保育園「スープの日」(ピッピひろば)参加8組

1月21日 給食試食会(ピッピみんなの保育園)参加3組

2)働いていてもいなくても預かる

・りとりるピッピ、ピッピみんなの保育園、ここ・はっぴいの3園で一時預かりを実施し、年間のべ利用人数は3,180人でした。

・りとりるピッピは、誰でも通園(乳幼児等通園支援)事業にも取り組み、横浜市の一時預かり制度も含めて理由を問わない預かりの重要性を提起しました。

3)ピッピタ暮れ食堂、タ暮れ弁当等の取り組み

・ピッピタ暮れ食堂では、利用者が定着して、大きな家族のようなつながりが生まれている一方

で、新規利用者がは減少傾向となっています。「どなたでもどうぞ」という開かれた場として新たな利用者への発信が必要です。新規ボランティアは緩やかに広がっています。

- ・夕暮れ弁当の取り組みとして、W.Co ミズ・キャロットと連携し、ピッピみんなの保育園、りとりるピッピ、大場りとりるピッピで、月1～2回の弁当を配布しました。補助金の獲得により、手頃な価格となり利用が拡大しました。活動へのスタッフ参加を広げることが課題です。

- ・フードシェア＊いちがおやピッピ夕暮れ食堂等食支援活動に参加する学生ボランティアチームとの活動ができました。また、インターンシップ受け入れをきっかけにフェリス女学院大学のボランティアセンターとの交流が進み、次年度の大学独自ボランティアプログラムに向けた準備・活動連携に繋がりました。

- ・横浜市のアプリ(園探しサポート)で、みんなの保育園の食支援の取り組みが紹介されました。

3.スキルアップ、相談支援

- ・相談支援チームでのケース検討を月1回開催をめざして実施しました。

- ・相談支援チームでのケース検討を生かし、はっぴい(広場、預かり)とヘルパーケア、りとりるピッピ(一時預かり)が連携し多胎児支援を行いました。こうした経験により、相談支援事業の重要性や事業所連携の意識付けも進みました。

- ・5月24日(土)には、総会企画として「共主体」をテーマに持田訓子さんを講師に研修を実施しました。また、「食支援」を中心にインターンシップの学生(長期・2人)とともに地域にひらいた企画を実行しました。

- ・12月15日(月)法人の子育て支援アドバイザー持田先生を招いて、共主体をテーマに事例による学習会を開催しました。

- ・6人の法人ワーカーがそれぞれの経験を生かし、必要とされる事業所での働き合いに力を発揮しました。事業運営が困難となったとなりのいえの運営にも、法人ワーカーの力が生かされました。あらたなスタッフを受け入れる事業所においては、慣習化されていた業務の見直しに繋がるなど、相互の視野を広げる機会となっています。

- ・7月より5人(短期3人、長期2人)の学生を受け入れ、各事業所での体験を積み、2人の学生がアルバイト就労に繋がりました。スキルを生かして情報発信にも力を発揮してもらいました。大学側担当者の見学も受け入れ、あらたな連携プログラム(2026年度実施予定)を検討しています。

4.ともに働く・暮らす

- ・スタッフ不足への対応もあり、複数のスタッフが他事業所体験プログラムに参加し、次年度につながる取り組みになりました。

ワーカーズ・コレクティブ協会からの依頼を受けて、りとりるピッピで就労準備支援を受け入れまし

た。

5.ネットワークを広げる

- ・横浜北生活クラブ「風」の取材を受け、食に関する活動を広く知らせることができました。
- ・青葉フードシェアネットワークとして、出前事業を実施しました。その後も、子どもたちが実施したフードドライブ品の提供や、子どもたちによるスタッフインタビューなどを通じて交流が続いています。

山下みどり台小学校出前授業 9月9日 市ヶ尾小学校出前授業 12月19日

- ・フードシェアでつながるセカンドリーグの地域循環油プロジェクトに参加し、ピッピみんなの保育園が拠点となり、法人内の各事業所でも廃食油回収をスタートさせました。この取り組みを地域へ広げていきます。
- ・青葉区社会福祉協議会からの食品や日用品の寄贈や、夕暮れ食堂やフードパントリーの見学を通じ、フードシェア活動について意見交換の機会を得ました。
- ・生活クラブ生活協同組合神奈川たすけあいネットワーク事業部ソーシャルインクルーシブ推進室より、シェアハウス(Nogomo矢向)の効果検証事業を受託し、調査・研究に寄与しました。
- ・11月22日、(一社)市民連帯経済つながるかながわ参加団体として、生活クラブ生協神奈川が主催する東日本大震災復興まつり2025に参加しました。2月3日は、つながるかながわ「第1回保育部門ミーティング」に参加しました。

6.現場から社会を変える

法人、および各事業所の取り組みに関心を持ってくださる方々の調査への協力や、見学受け入れに対応しました。

- ・8月5日、横浜市立大学三輪ゼミ「インクルーシブなまち保育」といった観点から、放課後等デイサービスの見学と活動場所や地域との関わり等についてアンケートに協力しました。
- 9月10日、10月4日 名古屋市立大学松村智史さんによるNPOの政策提言活動についての調査研究に協力し、現場見学およびインタビューに対応しました。
- ・NPO法人アクションポート横浜のインターンシッププログラムへの参加をきっかけにフェリス学院大学のボランティアプログラムにピッピ夕暮れ食堂の取り組みが採用され、新たな連携がスタートします。これを機に活動の目的や運営のあり方についても検証し、次世代につなげていきます。
 - ・青葉福祉ユニットの定例会に参加し意見交換を重ねました。11月26日には、横浜ユニット連絡会として横浜市長あて政策提案を提出しました。
 - ・横浜ユニット連絡会の一員として、介護の崩壊をさせない実行委員会に参加し、7月12日にはフォーラムを開催しました。引き続き、介護の社会化に向けて発信していきます。
 - ・全国小規模保育協議会横浜チャプター世話人会に参加し、施設見学会の開催に協力しまし

た。

1月31日(土) オレンジハウス星川保育園、Maple Nursery Westを見学

7.広報

・ニュースレター32号、33号を発行しました。ホームページやSNSも活用しタイムリーな発信を心がけました。

(株)Voice Japanに依頼し、12月よりHPリニューアルに着手しました。私たちの姿勢や取り組みへの理解や共感を広げることをめざして、Voice Japanと各事業責任者でやりとりを重ね丁寧に作業を進めました。

Ⅱ. 事業の内容

(1)特定非営利活動に係る事業

①子ども子育て支援法及び児童福祉法に基づく認可保育園事業、放課後児童健全育成事業及び子育て支援事業

ア 認可保育園事業

- ・内 容 保育及び子育て支援事業(一時保育、園開放、育児講座等)
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピみんなの保育園
- ・支出額 110,204,280円
- ・受益対象者 認可保育園、一時保育及び子育て支援事業
通常保育: 42人
一時保育: のべ 316人
子育て支援事業 のべ389人

イ 小規模保育事業

- ・内 容 保育及び子育て支援事業(一時保育)
- ・日 時 通年
- ・場 所 りとるピッピ及び大場りとるピッピ
- ・支出額 75,660,939 円
- ・受益対象者 通常保育及び一時保育及び乳児等通園事業及び子育て支援事業
通常保育: 18人
一時保育及び乳児等通園事業: のべ 917人
子育て支援事業 のべ88人

ウ 子育て支援事業ー1

- ・内 容 親と子のつどいの広場事業及び乳幼児一時預かり事業
- ・日 時 通年

- ・場 所 ピッピおやこの広場はっぴい及びここ・はっぴい
- ・支出額 26,573,089 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 3,641人

子育て支援事業ー2

- ・内 容 ピッピヘルパーケア 産前産後・子育て支援ヘルパー派遣事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 2,652,157 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 607人

エ 放課後児童健全育成事業

- ・内 容 小学生の放課後の健全育成
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ学童保育となりのいえ
- ・支出額 11,504,651 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 2,707人

②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業、指定障害児相談支援事業

ア 障害児通所支援事業

- ・内 容 放課後等デイサービス事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピデイサービスとなりのいえ
- ・支出額 28,564,105 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 2,554人

イ 指定障害児相談支援事業及び指定特定相談支援事業

- ・内 容 障害児・者計画相談事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 4,329,591 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 142人

③介護保険法に基づく居宅介護支援事業、介護予防サービス事業、地域密着型 サービス事業、第1号介護予防支援事業、及びその他 介護保険外の在宅支援事業 デイサービスさくら

- ・内 容 地域密着型通所介護事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 デイサービスさくら
- ・支出額 9,683,751 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 741人

④障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉

サービス事業、地域生活支援事業、及びその他の派遣事業
移動支援事業

- ・内 容 移動介護及び 通学通所支援
- ・日 時 4月～8月
- ・場 所 ピッピ移動支援となりのいえ
- ・支出額 2,064,193 円
- ・受益対象者 利用者: のべ 64人

⑤食や居場所づくり等を通して地域の助け合い・つながり合いを推進する事業

- ・内 容 サロン・フードパントリー・夕暮れ食堂等事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 大場町みんなのいえ・ピッピおやこルーム・くらしてらす
- ・支出額 3,939,612円
- ・受益対象者 利用者: のべ 3,578人